

渡辺 信一郎

◆著作活動

- * 伝音リレーエッセイ第 4 回「秦王破陣楽」2020 年 6 月 17 日
(<https://rcjtm.kcua.ac.jp/archives/essay/04watanabe.html>)

◆講座・講演活動

- * 論文「秦王破陣楽の時代——燕楽の唐宋変革・三統」『唐宋変革研究通説』第 12 輯、2021 年 3 月、pp.1-21
- * 2020.10.7 「封禅祭儀と中華帝国の「平和」」愛知大学国際コミュニケーション学部国際教養学科 2020 年度秋学期「アジア共同体の平和学—その 21 世紀における戦争と平和」第 4 回統治をめぐる儒家—イスラーム・コネクション (2)
- * 2021.3.18 「秦王破陣楽の創成と展開」2020 年度第 8 回伝音セミナー

◆委員会

- 教育研究審議会
- 全学人事組織委員会
- 全学 FD 委員会
- 全学国際交流委員会
- 芸術資源研究センター運営委員会
- キャンパス・ハラスメント防止対策委員会
- 移転寄付推進委員会
- 安全衛生委員会

◆対外活動

- 公益財団法人黒川古文化研究所理事

◆所属学会等

- 東洋史研究会
- 歴史学研究会
- 歴史科学協議会

藤田 隆則

◆著作活動

- * 2020.07 単著エッセイ「伝承を科学する—自然

の景物と修羅」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2020 年夏季号（2020 年 7 月 1 日）、p.4

- * 2020.09 単著エッセイ「伝承を科学する—斬殺される鬼たちの哲学」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2020 年秋季号（2020 年 9 月 1 日）、p.4
- * 2020.12 単著エッセイ「伝承を科学する—物狂による道行・歌舞・理責め」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2020 年冬季号（2020 年 12 月 1 日）、p.4
- * 2021.03 単著エッセイ「伝承を科学する—寺院が舞台となっている能」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2021 年春季号（2021 年 3 月 1 日）、p.4
- * 2020.05 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想（19）—「不即不離」の社会的起源」『楽報（都山流楽報）』1133 号（2020 年 5 月号）pp.2-3
- * 2020.07 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想（20）—伝統音楽と「口中調味」」『楽報（都山流楽報）』1135 号（2020 年 7 月号）pp.2-3
- * 2020.09 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想（21）—「和」の風景」『楽報（都山流楽報）』1137 号（2020 年 9 月号）pp.2-3
- * 2020.11 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想（22）—「呼吸」と「呼吸のイメージ」の違い」『楽報（都山流楽報）』1139 号（2020 年 11 月号）pp.2-3
- * 2021.01 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想（23）—テンポを「しめる」と「ゆるめる」」『楽報（都山流楽報）』1141 号（2021 年 1 月号）pp.2-3
- * 2021.03 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想（24）—合奏の中の「ずれる」と「ずれる」」『楽報（都山流楽報）』1143 号（2021 年 3 月号）pp.2-3
- * 2020.12 単著エッセイ「紹介 森田都紀著『能

管の演奏技法と伝承』『能と狂言（能楽学会機関誌）』17号（2020年12月）、p.119

◆口述活動

- * 2020.10.09 講演「伝統芸能の地下水脈としての声明」（伝統芸能コーディネーター育成プログラムシンポジウム「日本伝統芸能を繋ぐ地下水脈を探る～散楽・声明～」）相愛大学
- * 2020.12.12 学会発表「能楽における「息」の仕組み」（企画1：伝統芸能「能」における間・呼吸・拍子不合のデザイン研究における口頭発表）2020年度日本人間工学会関西支部大会

◆プロデュース活動

- * 2021.03 DVD『語りの立体化そして復曲—狂言、能、題目立』京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

◆調査・取材活動 ok

- * 継続中 謡曲・能の囃子の伝承にかかわる調査

◆学内活動

- * 教育研究審議会委員
- * 国際交流委員会委員
- * 附属図書館・芸術資料館運営委員
- * 人事組織委員会委員
- * 大学院音楽研究科兼任（日本音楽研究専攻の授業担当）
- * 学内非常勤（担当科目：民族音楽学1b（前期）／音楽学（前期））

◆対外活動

- * 神戸女学院大学音楽学部非常勤講師（2020.09-2021.03）
- * 滋賀大学教育学部非常勤講師（2020.04-2020.09）
- * 奈良教育大学非常勤講師（2020.04-2020.09）
- * 令和2年度文化庁芸術祭審査員（演劇部門）
- * 文化庁文化審議会文化財分科会第四専門調査会委員

◆所属学会

- * 日本音楽学会、楽劇学会、東洋音楽学会、能楽学会、音楽教育学会、芸能史研究会、International Council for Traditional Music, Society for Ethnomusicology

竹内 有一

◆共同研究・競争的資金等の研究課題

- * 2020.04-2024.03 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究（B）20H01205「新出コレクション「西村公一文庫」の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」研究代表者
- * 2020.04-2021.03 令和2年度京都市立芸術大学特別研究助成「崇仁・その祭り囃子・芸大を軸にしたフィールドワークの活性化 一地域のワザとの連携の未来をえがく」研究代表者
- * 2020.11.01-2022.03.31 早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点公募研究「坂川屋旧蔵常磐津節正本板木の基礎的研究」研究代表者
- * 2019.04-2022.03 日本伝統音楽研究センター共同研究「下京・大学から発信する日本音楽研究」研究代表者

◆著作

- * 2021.03.31 編著『『老の戯言』（影印・翻刻）—『都の錦・老の戯言』その二—』（常磐津節の伝承資料に関する調査報告書二〇二〇年度、文化庁補助事業）、常磐津節保存会、102pp
- * 2020.05.31 報告「ぶたい：常磐津家元所蔵浄瑠璃本の修理から復曲へ」『楽劇学』27、pp.81-85
- * 2021.03 報告「坂川屋旧蔵常磐津節正本板木の基礎的研究」（公募研究成果報告）『早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点 Newsletter』11、p.9
- * 2020.8.22 解説「鳴物・長唄：外記猿」「長唄：石橋」「歌舞伎：新版歌祭文」、国立劇場歌舞伎音楽既成者研修発表会『第22回音の会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.2-5
- * 2021.03.28 解説・詞章「子宝三番叟」「蜘蛛糸梓弦」「積恋雪関扉」「恩愛瞋関守」「乗合船恵方万歳」「花舞台霞の猿曳」「薪荷雪間の市川」「戻橋」「椀久色神送」「戎詣恋釣針」、『常磐津創流二百七十五年・常磐津協会創立七十五周年記念演奏会』パンフレット、国立小劇場
- * 2020.04.30 監修分担『知りたい！日本の伝統

音楽③ 受けつごう！伝統音楽の今後」、日本伝統音楽研究センター監修、ミネルヴァ書房、32pp

- * 2020.03.30 web コンテンツ編著「概要」「凡例」「目録」「(影印)、『常磐津正本集-京都芸大 竹内研究室編-』、伝音アーカイブズ(日本伝統音楽研究センター)(2019年度補遺)

◆講演・口頭発表等

- * 2020.10.05 解説「常磐津節と『戻橋』」、無題の会 vol.18、佛光寺白書院(下京区)
- * 2021.02.06 ファシリテーター「シンポジウム: 疫病と芸能」、伝統芸能文化創生プロジェクト、京都芸術センター講堂
- * 2020.11.25 報告「坂川屋旧蔵常磐津節正本板木の研究経緯」、早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点公募研究「坂川屋旧蔵常磐津節正本板木の基礎的研究」研究ミーティング、オンライン
- * 2021.01.20 報告「坂川屋旧蔵常磐津節正本板木の簡易目録について」、同上
- * 2021.03.03 報告(鈴木英一と共同)「2020年度研究成果の概要」、早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点公募研究2020年度成果報告会、オンライン

◆教育・講義

- * 前期/後期 日本伝統音楽基礎演習 a1~4、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- * 前期/後期 日本伝統音楽研究 a1~4、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- * 前期 音楽学特講 h、京都市立芸術大学音楽学部
- * 前期 音楽学特殊研究 h、京都市立芸術大学大学院音楽研究科

◆学術貢献活動・調査等

- * 文化庁補助事業「常磐津節の伝承資料に関する調査」(常磐津節保存会)
- * 常磐津節ほか三味線音楽の伝承・演奏に関わる実態調査(国立劇場・国立文楽劇場・京都市南座・大阪松竹座・歌舞伎座・関西常磐津協会ほか)
- * 常磐津節演奏者個人蔵の記録・譜本・音源資料等の調査
- * 詞草本出版物(近世版本)等の書誌調査およびデータ作成

◆社会貢献活動

- * 京都市立芸術大学公式クラブ「常磐津部」顧問・指導
- * 伝承支援「崇仁祭り囃子」(崇仁お囃子会)
- * 2020.07.25 企画・協力「崇仁祭り囃子体験と京芸生によるお囃子レッスン」、崇仁児童館学習ひろば(崇仁児童館)
- * 2020.11.07 企画・演奏「崇仁祭り囃子、常磐津節」、崇仁文化祭(崇仁自治連合会ほか主催、下京いきいき市民活動センター)
- * 2021.03.13 演奏補佐「崇仁祭り囃子」、崇仁児童館学習ひろば閉校式(下京いきいき市民活動センター)

◆演奏(常磐津節浄瑠璃方、芸名:常磐津 若音太夫)

- * 2020.08.05 常磐津節「助六廓花道」「水売り」、NHK-FM「邦楽のひととき」
- * 2020.10.05 常磐津節「戻橋」、無題の会 vol.18、佛光寺白書院(下京区)
- * 2020.10.10 常磐津節「常磐の老松」(舞踊)、「箴源太」(舞踊)、国立文楽劇場第38回舞踊公演『東西名流舞踊鑑賞会』、国立文楽劇場
- * 2020.11.01 常磐津節「松の栄」「お夏」「吹き寄せ老松」、常磐津都会、知恩院和順会館(東山区)
- * 2020.11.07 常磐津節「吉田屋」、NHK-FM「邦楽百番」
- * 2021.01.30 常磐津節「釣女」(歌舞伎)、ジャパン・ライブエール・プロジェクト奈良「大和座」歌舞伎舞踊への誘い(大和高田さざんかホール)
- * 2021.02.08 常磐津節「仮名手本忠臣蔵:五段目」、無題の会 vol.20、井筒ハツ橋本舗祇園本店(東山区)

◆所属学協会

- * (一社)東洋音楽学会、楽劇学会、藝能史研究会、歌舞伎学会、洋学史研究会
- * 常磐津協会、(一社)関西常磐津協会

◆学外委員

- * 文化庁文化審議会文化財分科会 第四専門調査会委員
- * 芸術文化振興会 芸術文化振興基金運営委員会 文化

団体活動専門委員会委員

- * 伝統芸能用具・原材料に関する調査委員会委員（文化庁委託事業）
- * 京都市芸術文化特別奨励制度 審査委員会専門委員会委員
- * 京都市伝統芸能文化復元・活性化プログラム 審査委員会委員
- * 京都市伝統芸能文化創生プロジェクト推進会議委員
- * 崇仁まちづくり推進委員会理事
- * （公社）文楽協会評議員
- * （一社）東洋音楽学会 西日本支部長

◆学内委員・役職

- * 京都市立芸術大学：施設整備に関する会議、将来構想会議
- * 日本伝統音楽研究センター：資料委員会 委員長、将来構想委員会 委員長、予算整備委員会 副委員長、移転対策委員会 副委員長、人事組織委員会 副委員長

田 鞆 智 志

◆著述

- * 2020・12・10 「競馬節会行幸の舞楽《蘇芳菲》《狛龍》から因幡の麒麟獅子舞へ〔一〕」、『日本伝統音楽研究』pp122～142。
- * 2021・03・31 「『源氏物語』に描かれる雅楽曲—平安末期の様式で再現する」、「掌中要録・続教訓抄から探る鎌倉期舞楽—《甘州》全五帖と入綾の再現」、「経義と中世寺院の稚児、そして芸能」、「音楽実践をもって徳を積む—平安後期・鎌倉期の管絃講（往生講式）、そのころ」、田鞆智志・上野正章・アンドレア ジョライ編『雅楽のイロイロを科学する本』日本伝統音楽研究センター研究報告 13、pp33～46、pp 100～153、pp 168～186、pp 212～255。
附属 CD（演奏）：T03《石上流泉》、T04～08《青海波》《胡蝶楽》《想夫恋》《酣醉楽》、T12～13 只拍子様《萬歳楽》楽拍子様《萬歳楽》。
附属 DVD（出演）：C04 舞楽《甘州》全五帖・入綾、C06～C13『順次往生講式』より只拍子様《相佛戀（想夫恋）》《西方樂（伊勢海）》只拍子様《陪

臚》《往生樂 合佛（八句念佛）》只拍子様《甘州》楽拍子様《老君子》《西方樂（更衣）》。

◆講演等

- * 2020・07・20 Online 伝音セミナー「真宗高田派に息づく天台声明」、鷹阪龍哉（講師）・田鞆智志（ききて）、龍源寺より Facebook ライブ配信。
- * 2021・03・11 Online 伝音セミナー「雅楽《越殿楽》のなぞ」、日本伝統音楽研究センター合同研究室 2 より Facebook ライブ配信。

◆調査・その他

- * 2020・08・13-14 桂地蔵前六斎念仏 棚経（京都市西京区）
- * 2019・04・20-21 東安堵六斎念仏調査（奈良県安堵町）
- * 2020・08・22-23 桂地蔵前六斎念仏 桂地蔵寺 地蔵盆および下桂御霊神社奉納演舞。

◆学内活動

- * 担当科目：日本音楽史 I（音楽学部）、日本伝統音楽研究、日本伝統音楽基礎演習、原典研究日本古典（大学院音楽研究科）
- * 自己点検評価委員会、学生委員会
- * 大学院修士入試委員会、教務委員会

◆対外活動

- * 東佐味六斎念仏講（東佐味六斎念仏復興プロジェクト）会長
- * 桂地蔵前六斎念仏保存会会員

武 内 恵 美 子

◆共同研究・競争的資金等の研究課題

- * プロジェクト研究：儒教と文人の世界観に展開する「楽」思想の諸相研究

◆科学研究費補助金

- * 研究代表者 基盤 (C)「江戸時代の藩校における音楽教習・楽実践から楽思想構築に至る楽文化の総合的研究」(2016 - 2020) 研究課題番号：16K03022
- * 研究分担者：基盤研究 (B)「新出コレクション『西村公一文庫』の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」(研究代表者：竹内有一) 2020-2024 年度。

- * 特別研究助成「大英博物館所蔵平松琴仙音楽資料群の調査及び基礎研究」(2020 - 011)

◆著述

- * 武内恵美子／周耘「古琴东传史実与日本乐现状」浙江音乐学院『音楽文化研究』2020年2号 pp.6-14

◆学内活動

- * 担当科目：原典研究Ⅰ・Ⅲ、日本伝統音楽演習 BI・III、日本伝統音楽演習 BII・IV、日本音楽史
- * 芸術資源研究センター副センター長、リポジトリ運営委員会、ハラスメント防止対策委員会、学術委員会、国際交流委員会、情報管理委員会

◆学外活動

- * 文化庁令和2年度芸術選奨推薦委員

齋藤 桂

◆著作活動

- * 伝音リレーエッセイ「「股旅ものについて、石巻にて」(<https://rcjtm.kcua.ac.jp/archives/essay/02saito.html>) 6月3日。
- * 「追悼文：E.V. ヘイレンさんを悼む」『京都新聞』10月13日。
- * 「『職業としての学問』と現在」『京都新聞』10月16日。
- * 「洋楽新譜案内」『上毛新聞』2月8日。
- * 「パンデミック下の音楽ホール」(京都コンサートホール、高野裕子氏へのインタビュー記事) 民族芸術学会『arts/』pp.247-248。

◆口頭発表

- * 「100年前のベートーヴェン」日本音楽学会全国大会、11月15日(白井史人氏、沼口隆氏、安川智子氏とのパネル、担当「『大菩薩峠』とベートーヴェン：中里介山の思想と近代日本の音楽観」)

◆講演

- * 「コメディ・バレと上方芸能の類似点：「似ている」「似ていない」から考える文化史」大阪市立青少年センター、8月13日。
- * 「日本音楽史の誕生」朝日カルチャーセンター(オンライン)、10月30日。
- * 伝音セミナー「音としての言葉：日本の近代文学と

音楽」12月17日。

◆学内活動

- * 全学広報委員
- * ギャラリー@KUA 運営委員
- * 情報システム管理委員

◆対外活動

- * 日本音楽学会西日本支部委員
- * 所属学会：日本音楽学会、東洋音楽学会、European Association for Japanese Studies

◆科研費

- * 研究代表者：基盤研究(C)「近現代日本における「股旅もの」芸能の研究」2019-2021年度。
- * 研究分担者：国際共同研究加速基金「東欧の音楽文化に関する民俗学的調査と編曲作品研究」(研究代表者：伊東信宏)2019-2023年度。
- * 研究分担者：基盤研究(B)「新出コレクション『西村公一文庫』の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」(研究代表者：竹内有一)2020-2024年度。